

見沼自然散策

2018.4.8

タンポポ



セイヨウタンポポ ニセカントウタンポポ カントウタンポポ

海外から移住



明治中頃にやってきて春の景色になった**オオイヌノフグリ**と**タチイヌノフグリ**（右）。毛だらけの**フラサバソウ**（左）は昭和になって再発見された種。

子育ての季節

春は子育ての季節。オスは自分の子孫を残したいから、さえずりで縄張り宣言。ヒナが育つ頃は虫が増えるから餌に困ることはない



ビーンビーンとさえずり縄張りを宣言するのは**カワラヒワ**

シジュウカラはツピツピツピと鳴きながら忙しく動き回る



コゲラは嘴で木をたたいて大きな音を立てる。これをドラミングと言い、さえずりの代わり

見沼たんぼ地域ガイドクラブ

<http://www.minuma-guide-club.com/>

大切に守られて



やわらかな毛に包まれた**コナラ**の新芽。**アカメガシワ**の新芽は赤い細かい毛が葉の表面を覆って、か弱い新芽を守っている

目立たなくても、花



さて、何の花？

菜の花が好き

ツマキチョウ（右）の幼虫は菜の花の仲間を食べて育つ、早春のチョウ

モンシロチョウも菜の花やキャベツを食べて育つ



私たちが食べる野菜の多くが菜の花の仲間。



菜の花にいるカメムシだから**ナガメ**



幼虫も菜の花に集まる